

激突！火花散る戦い

第46回幸田町ユニバーサルホッケー大会

7/1, 2

豊坂小学校体育館および勤労者体育センターで、第46回ユニバーサルホッケー大会が開催されました。町内の小学生を中心に82チーム557人の参加があり、全5部門で185試合が行われました。各部門の優勝チームを紹介します。



▲小学1・2年の部優勝 トヨサカ☆パイヤ



▲小学3・4年の部優勝 幸小エメラルド



▲小学5・6年の部優勝 幸小スターズ



▲ジュニアの部優勝 U S T



▲シニアの部優勝 坂崎キューピース



▲大会の一場面

災害対策へ向けた講話

住田町長防災講話

7/5

災害時相互応援協定を結んでいる岩手県気仙郡住田町の多田欣一町長（8月4日任期満了）が幸田町を訪問されました。住田町では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、いち早く被災者支援として木造仮設住宅の建設を行い、沿岸部の津波被災者の受け入れを実施しています。この時の災害対応について、町職員を対象に講話をしていただきました。講話の内容を参考にして、今後の防災対策に取り組んでいきます。



▲住田町の多田欣一町長



▲大勢の職員が講話を聞きました

まちがとフォト

身近な情報を広報へ

勝利を射抜け！

北部中弓道部 全国大会出場報告会

7/10

北部中学校弓道部男子が全日本少年少女武道（弓道）錬成大会へ出場が決定し、町長に事前報告に訪れました。訪れたのは、久保田陸仁くん、山本凱渡くん、伊奈優希くん、水野知紀くん。昨年秋の県大会で優勝して全国大会への出場権を獲得し、東海大会では準優勝もしています。全国大会に向け、「1番手なので流れを作っていく」（久保田くん）、「誇りを持って頑張りたい」（山本くん）、「1本1本を大切に的に向かいたい」（伊奈くん）、「みんなの足を引っ張らないようにしたい」（水野くん）、とそれぞれ意気込みを語ってくれました。



▲左から、久保田くん、水野くん、山本くん、伊奈くん

地域全体で見守りましょう

見守りネットワーク事業

7/19

高齢者等見守りネットワーク事業に関する協定を行いました。この事業は、高齢者などに何か異変があったとき、素早く対応できるように地域全体で協力をして見守り活動をしていこうというものです。この事業には生活に密着した保険・金融機関を始め、郵便局、電気・ガスの事業所、新聞販売店、コンビニ、生協が協力しています。



▲協定締結の様子



▲見守りネットワーク事業協力者の皆さま

全国&世界ではばたけ！

俳句甲子園出場決定、フロアボール世界大会出場の報告会

7/25

幸田高校の書道文芸部が第20回俳句甲子園に出場が決まり、町長に事前報告に訪れました。出場するのは、井原千恵理さん、渡邊一輝さん、青木彩夏さん、二村菜月さん、出口綾夏さん、三田悠斗さんです。また、青木さんは第41回全国高等学校総合文化祭（宮城大会）文芸専門部 俳句部門にも愛知県代表として出場します。部長の井原さんは「勝ち進んで私たちの俳句をたくさんの人に見てもらいたい」と意気込みを語っていました。

また、稲吉渚くんはU19世界フロアボール選手権日本代表として5月にスウェーデンで行われた世界大会へ出場しました。フロアボールとはユニバーサルホッケーに似た競技です。稲吉くんは「海外の強い人たちを見て自分の弱い部分があったので改善していきたい」と次の目標を語ってくれました。



▲左から、三田さん、渡邊さん、井原さん、青木さん、二村さん、出口さん



▲世界フロアボール選手権に出場した稲吉くん

フォトニュース

E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

FAX (63) 5139

広報直通ダイヤル(63) 5132

今年も彦左の季節がやってきた！

第29回幸田彦左まつり

7/29

幸田の夏の風物詩、彦左まつりが開催されました。開幕のパレードでは荻谷小学校の鼓笛隊を先頭に、コミュニティや地元企業による大久保彦左衛門や一心太助などの仮装行列が幸田中央公園から幸田駅前通りを練り歩きました。幸田駅前通りには多数の店が並び、多くの人でにぎわいました。また駅前広場では、輪になって新幸田音頭を踊ったり、特設ステージでパラパラダンスなどが披露され、来場者も一緒になって盛り上がっていました。



- ①②③彦左行列に参加した皆さん ④幸田駅前広場で新幸田音頭を楽しむ参加者
⑤ステージで行われたパラパラを見て一緒にダンス♪ ⑥ボールすくいを楽しむ子ども
⑦幸田駅前通りが多くの人でにぎわいました

まちがと

身近な情報を広報へ

子どもたちの熱い夏

第51回幸田町子ども会ソフトボール大会

7/23・7/30

幸田町子ども会ソフトボール大会がとぼね運動場で開催され、優勝を目指して子どもたちの熱いプレーが繰り広げられました。ピッチャーは汗をかきながら仲間を信じて投げ続けました。バッターも必死です。バットに当たれば全力疾走。大きい当たりを放つと次の塁めがけて走りました。駆け付けた応援団も、得点が入るとハイタッチをして喜んでいました。

今大会の上位3チームを以下に紹介します。なお、この3チームは8月19日に西尾市坂田グラウンドで開催された西尾市子ども会ソフトボール親善大会に出場しました。



▲優勝 荻・桜坂子ども会



▲準優勝 豊坂南部子ども会



▲3位 坂崎子ども会A



▲大会の一場面

栄光へスマッシュ！

全日本ジュニアテニス選手権2017出場報告

7/31

7月15日から23日まで名古屋市で開催された第86回東海中日ジュニアテニス選手権大会で、北部中学校2年の南颯汰くんが、14歳以下男子シングルスで第5位、男子ダブルスで第4位という好成績を収め、両種目で全日本ジュニアテニス選手権2017への出場を決め、町長への報告に訪れました。

全国大会へ向けての抱負について、南くんは「初戦で戦う相手はボールをよく返してくる選手なので粘って自分のプレーができるように一生懸命頑張りたい」と話してくれました。そして、全国大会での目標について「ベスト8に入りたい」と力強く語ってくれました。



▲全国大会に出場する南くん

フォトニュース

E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

FAX(63)5139

広報直通ダイヤル(63)5132